

消化器科後期臨床研修医（レジデント）カリキュラム

概要

消化器科では、患者様に満足していただける高いレベルの医療が提供できることを目標とし、後期臨床研修医の指導に力を注いでいる。当科では、上部・下部消化管、肝・胆・膵の疾患を対象とし、内科一般の診療を基礎に、消化器疾患の診断と治療が行えるよう指導を行う。

一般目標

- ・ 病棟診療や救急・当直業務を通して内科専門医師としての診療能力を研鑽する。
- ・ 消化器疾患全般について基本的診療能力を修得する。
- ・ 腹部超音波検査や内視鏡検査につき基本手技を修得する。
- ・ 内視鏡治療や肝癌の局所治療に関しては、チームの一員として治療に参加して手技を経験する。

個別目標

- ・ 問診をとり、身体所見を把握できる。
- ・ 消化器疾患の救急（吐下血・急性腹症）に対応できる。
- ・ 腹部レントゲン、腹部超音波、腹部CT、内視鏡検査の画像を的確に読影できる。
- ・ 腹部超音波検査や内視鏡検査を一人でできる。
- ・ 内視鏡治療や肝癌の局所治療の適応を理解し、治療方針をたてられる。
- ・ B型・C型慢性肝炎に対し適切なインターフェロン治療を行える。
- ・ 抗癌剤の副作用を理解し、消化器悪性腫瘍に対し適切な化学療法を計画し施行できる。
- ・ 日本内科学会、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会、日本肝臓学会などで発表する。

研修方法

- ・ 入院患者受け持ち
- ・ 検査業務の担当（腹部超音波検査・上部消化管内視鏡検査・肝生検）
- ・ 各種検査（下部消化管内視鏡検査・ERCP）及び各種治療（内視鏡治療・ラジオ波焼灼療法）の見学及び介助
- ・ 救急、当直（一般内科救急、当直、消化器科救急）

週間スケジュール

上部消化管内視鏡（月～金曜日午前）

下部消化管内視鏡（月～金曜日午後）

腹部超音波検査（月～金曜日午前・午後）

ERCP（火・金曜日午後）

内視鏡治療（火曜日午前・午後）

肝生検、エタノール局注療法、ラジオ波焼灼療法（月～木曜日適宜）

病棟カンファレンス（火曜日17時～19時）

研修記録と終了評価

1. 後期臨床研修医（レジデント）は病歴抄録を指導責任者に提出し、校閲を受ける。
2. 年間受持ち症例のリストを提出する。
3. 指導責任者は後期臨床研修医（レジデント）の目標達成状況を評価し、2年終了時には研修委員会において修了判定する。

専門医等申請資格

日本内科学会認定内科専門医、日本消化器病学会消化器病専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本肝臓学会肝臓専門医を受験するには、まず日本内科学会認定内科医の資格を得なければなりません。将来消化器系の専門医を受験するのに必要な研修を行います。（各学会の専門医の受験資格については、各学会の広報を参照して下さい。）